

三中だより

令和3年11月30日(火)

大田区立大森第三中学校

校長 笛木 啓介

令和3年度第9号

大田区中央4-12-8

二学期も、いよいよ1か月ほどです。暦も12月となり、令和3年も残すところ1か月と、一年間や今学期を振り返る時期となってきました。今学期は、オンライン授業・中間考査・土曜公開・修学旅行・防災訓練・移動教室・・・そして学芸発表会の合唱コンクールとさまざまな行事を行うことができました。こうした行事を通して、生徒一人ひとりにはどのような思い出を得て、そしてどのように成長したかと思うを巡らせています。一人ひとりがそれぞれに思い、悩み、考えた二学期となったことでしょう。中には大きな舞台があった人もいれば、人知れず努力を積み重ねて行事に向き合った人もいます。そう考えると、学校行事は生徒たちにとって大きく成長できる場面であるということ、そしてこの二学期に大きく成長できたのではないかと思います。好むと好まざるに関わらず、一人ひとりに何かしらのスポットライトは当たり、そのときの主役であったと考えられます。そこで連想のように頭にポツと浮かんだことばがあります。「一隅を照らす」

この言葉から受け取る印象として、光が一角を照らしてくれる、差し込んだ光が片隅まで届くように継続して努力していれば願いは届く、といった受け身的なことではないかと考えていました。今、文章にしている身としては、無知無学をさらけ出すようで大変お恥ずかしい限りです。浅学を恥じて、あらためて調べてみました。この言葉は、今から1200年ほど前の平安時代に天台宗を開いた

最澄の書いた「天台法華宗年分学生式」が典拠だそうです。これは、人々を幸せに導くために「一隅を照らす国法的人材」を育成したいと著述されたものだそうです。それほど昔から、人材は大切な財産であるという考えがあったということにも驚かされます。この、「一隅を照らす」ですが、自分自身がそれぞれの環境や立場で、精一杯努力をして、光輝くことで、一つ一つの光をあわせて、社会全体が光輝くようにしていこうという意味なのだそうです。最初に、イメージしていたものとだいぶ違うようです。最澄は、「自らの尊い人生を大切に努力していこう、自分のもてる能力を発揮して一隅を照らしましょう。そして、それが結集すると社会全体を照らすことにつながります。」と述べています。一人ひとりがそれぞれの役割や立場という一隅で努力を続けることで、社会全体をよくすることにつながると述べているのです。前提として、まず努力をしていく個々人の姿勢こそが大切ということなのです。

さらに、先日は学習の総まとめの期末考査が行われました。テスト中は、どの学年の生徒も真剣にテストに向き合い、一人ひとりのその気持ちが結集して、学校全体が真剣になっていました。期末考査に限らず、これまでのさまざまな学校行事の成果は、一人ひとりがベストを尽くそうと取り組んだからこそということなのです。そうした、一人ひとりの存在を大切にされた教育活動をこれからも進めてまいりたいと思います。

スクールカウンセラー出勤予定日

藤田 啓子	12/7(火)、12/14(火)、12/21(火)
鳥海 真里	12/1(水)、12/8(水)、12/15(水)
田中 典子	12/3(金)、12/10(金)、12/17(金)

※大森三中

相談室直通電話

(3773) 7831

12月の行事予定

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	
		学校閉鎖期間(1月3日迄)			冬季休業日(始)		終業式	大掃除⑥(⑤カット)	地域連携支援委員会					中央委員会(16時)	私立高校入試相談(3)始	専門委員会(15時30分)	避難訓練		土曜補習	全校三者面談 終 5時間授業⑥カット	5時間授業②(カット)	4時間授業④(カット)	5時間授業④(カット)	安全指導 5時間授業⑤(カット)			都庁力向上調査① 4時間授業⑤⑥(カット)	都庁力向上調査②	全校三者面談 始 4時間授業③④(カット)		

みんなを支えよう

1年

最初は、学芸実行委員なんて、何をやるかわからなくて、おどおどしてばかりで、そんな中で、副委員長なんて大役に立候補するなど、自分でも心配になるようなことをして、不安しかありませんでした。

それでも、自分にできる精一杯のことをしよう。そう思ったのは、実行委員の仕事で、スローガンを決めていた時でした。もらったスローガンの案一つ一つが、まるでその人達一人一人の意気込みのように思えました。こんなに頑張ろうとしている人達がいるのに、私は何をしているのだろう。そう思えました。

自分も、精一杯支えよう。そう思ったのは、パートリーダーの人達の姿でした。歌うときにどうしたら声が出るかのアドバイスや、歌詞カードを作って、そこにポイントを書いたり、ホワイトボードにアドバイスを書くことも快く引き受けたり、他のパートへの助言までしていました。私は、失敗もして落ち込んでばかりだった自分を恥じました。この人達を、クラスを支えたい、そう思えました。

当日、全員、精一杯の合唱をして、今までのことを思い返して、歌うことができたと思います。振り付けもバッチリでした。ピアノも、しっかり完成していました。これまでの努力が、滲み出ているように思いました。

結果発表は、副委員長の仕事でした。壇上で初めて結果を知りました。五組は、賞に入っていませんでした。

明るい声を出すのが嫌でした。でも、そこで他のクラスの合唱を思い出しました。ソプラノの声を大きくするため、移動していた男子、パートリーダーの周りを引っ張るような声。どのクラスも、工夫して、努力していました。私も精一杯やろう。そう思いました。

教室に戻ると、クラスの子が、後ろの黒板の最優秀賞の文字を努力賞に変えていました。今にも、泣きそうな気持ちになりました。もし叶うなら、来年も、学芸実行委員になりたいと思いました。あの壇上で、自分のクラスを言いたいと思いました。やっぱりどうしても、悔しかったです。

勝利の鐘

2年

今年の合唱も無事に終わり、私たち3組は最優秀賞を受賞することができました。ですが私は順位以上に大切なことを学ぶことができた合唱コンクールになりました。

練習初日、正直に言ってクラスのみとまりがなくて少し困っていました。また、私は学芸実行委員ということもあり、毎日の練習内容を考えたり、みんなの中心になって練習を引っ張っていく必要があったので、最初は不安でいっぱいでした。そんなときパートリーダーや指揮者・伴奏者のみんなにとっても助けられました。そして、徐々にクラスのみとまりもまともだして練習にも意欲的に取り組んでくれるようになりました。

毎日帰り学活で反省会をして、明日の練習内容を決めたり新しい練習方法を考えたり、どんどんクラスの中でもやる気があがってきました。本番がどんどん近づいてくる中、学年リハーサルをむ

かえました。全クラスのレベルも高く、少し焦りを感じていました。そこからクラス全体にエンジンがかかってきたと思います。声かけをしたりみんながアドバイスを言い合ったり、ぐんぐんと歌唱力も団結力もあがっていききました。むかえた本番。朝からどことなくみんなソワソワしていて声出し練習の時もいつもよりもっと気合いが入っていた気がします。本番は本当に最高でした。あっという間でしたが各パートがきれいにそろって最強のハーモニーでした。結果発表は3組だけでなく全クラスが緊張していたと思います。全クラス本当に上手でどのクラスが優勝するか予想もつかず、みんなドキドキしていました。「最優秀賞は自由曲HEIW Aの鐘を歌った3組です。」その瞬間涙が止まりませんでした。賞状を受け取った時は今まで頑張ってきたことやクラスのみとまりが喜んでいと思うと、もっと涙がでてきてしまいました。2年生の部が終わって、私がクラスに戻ると3組からたくさん拍手が聞こえました。この時、私は順位以上に大切な物があつたと思います。クラスが1つになって喜び合っている姿を見て2年3組がより一丸となって団結したなと感じました。

合唱を通してよりクラスの一体感を感じられたし、3組がより一つになれた合唱コンクールでした。これからの活動でもこの経験を活かして、より最強のクラスにしていきたいと思います。

最後の合唱コンクール

3年

私は今回学芸実行委員をしてたくさんのことを知り学ぶことが出来ました。

私たち3年2組は、優勝したいという気持ちを持ち、練習をしました。しかし、最初の頃は音楽の授業が遅れていたのもあってなかなか練習をすることが出来ませんでした。歌っているときや間奏のところでふざけたり、パート練習なども出来なくて、クラスのみとまりがありませんでした。それでも、放課後練習が始まってからは、みんなが練習を真面目にするようになりました。時間がなかったので、ふざけないで練習をしてくれました。全員で合わせる時では、指揮者の2人や先生にアドバイスをもらい、ダメなところも改善していきました。合唱コンクールは出場順が1番で緊張していたと思いますが、心を一つにあわせて自分の出し切れる力を全部出せたかなと思いました。その結果最優秀賞を取ることができました。

また、実行委員会では、昨年とは少し違うことをしたり、放課後練習の計画を立てたり、クラスのみとまりがたくさん練習できるように呼びかけたりなどしました。今年は昨年より仕事の量がふえて大変でしたが、実行委員で協力して仕事を終わらせることができました。もし、実行委員会のメンバーが違っていたら、仕事は早く終わっていなかったかなと思いました。

今回の合唱コンクールで、クラスでも実行委員会でも、仲間と協力することの大切さを学ぶことができました。

